

清水高原(きよみずこうげん)歳時記（長野県道完走編）

≪長野県山形村≫(やまがたむら)

第13集

（長野県道 1 号線～508 号線）

NO.85 伊那谷南部を走る長野県道 15 号

（長野県道 15 号走破）

NO.86 下諏訪宿（本陣）と諏訪大社下社秋宮

（群馬県道 185 号走破）

NO.87 信濃国は10州に境連ぬる国にして（山梨県編）

（八ヶ岳スケッチライン走破）

NO.88 諏訪湖畔を走る

（長野県道 487 号走破）

NO.89 茶臼山高原（愛知県）を県道 46 号線から一周

（長野県道 46 号走破）（茶臼山高原道路走破）

NO.90 信濃国は10州に境連ぬる国にして（愛知県編）

（愛知県道・長野県道 74 号走破）（愛知県道・長野県道・岐阜県道 101 号走破）

NO.91 実延長7mの上田停車場線（県道 162 号）

（長野県道 161 号走破）（長野県道 162 号走破）（長野県道 336 号走破）（長野県道 337 号走破）

伊那谷南部を走る県道 15 号線

澤田 繁 著

(長野県道 15 号走破)

2024.7.2 国道 19 号線から奈良井宿横を通り、権平峠を越えて伊那にいき、伊那西部広域農道を飯田方面に向かいまいした。途中、あじさいの花が目についた「深妙寺」に寄りました。いつも通り過ぎていたので、初めてでした。境内には、2500 株 200 種類のあじさいがあり、すごく楽しめました。また「石臼」が道に敷かれている。5 月 7 日に豊丘村の「泉龍院・三色藤」を見た時、参道に石臼が敷かれていたのを見たのが最初、寺の案内にはく長野県南部では、江戸時代から使い切った石臼をお寺に奉納する習慣がありました。性抜きの法要後参道前に並べました。石臼の穀物などを砕く機能で 108 もある煩惱を砕いてほしい願いが込められています>と書いてありました。



伊那西部広域農道は宮田村から伊那中部広域農道になり、駒ヶ根インター付近で伊那中部広域農道からはずれ、県道 75 号線を使い国道 153 号線に出ました。駒ヶ根駅周辺を通り、中田切川を U 字走行で渡り、飯島駅周辺を通り、与田切川を U 字走行で渡った所に、県道 15 号線の始点の与田切交差点がある。



県道 15 号線(飯島飯田線)は、いきなりつづら折りの坂道を登る、登りきるとなだらかな平地が広がる。柏木交差点で伊那中部広域農道と一緒に。しばらくして「信州里の菓工房」が右側にあり、隣には「道の駅花の里いいじま」がある。七久保地区を過ぎると松川町に入る。すぐに 15 号線のバイパスが現れるが、車の流れは、バイパスを少し行き、伊那南部広域農道に入る流れが多い。バイパスではない 15 号線は、三州街道とほぼ同じ道を行く事になる。又街道沿いには、果物の直売所が多い、この日は、



バイパスを
行き、途切
れた所(写真)
を右折し 15
号線に戻り、
直売所で、
さくらんぼ

とブルーベリーを買った。

片桐宿・大島宿の三州街道は、ところどころ面影が残っている所でした。

松川町から高森町に入り、山吹地区から吉田地区と大島山地区の境を走り「市田柿」で有名な市田地区に入った。高森町最後の牛牧地区を抜けると飯田市に入った。



飯田市坐光寺に入り、坐光寺スマートインターの近くを通りました。スマートインターからリニア中央新幹線の駅まで、直線で3kmくらいの距離で、道を整備すれば10分程で中央高速道路に乗れるが・・・

上郷黒田地区に入り、「黒田人形＝人形浄瑠璃」を思い出し、なにかあるかと探し、見つけた伝承館の建物を見ただけで引き返しました。1979年に人形劇カーニバル飯田がはじまり、この流れでの「いいだ人形劇フェスタ2024」は8月1日～4日の開催が決まっています。この地区内から、県道15号線は2本になっている。1本は、三州街道沿いに飯田駅付近の中央通り3・4丁目交差点までと、もう1本は、飯田インターからアクセス道路として、片側2車線の道路が大門交差点で交差して更に北に延び、黒田神社下交差点から片側1車線になり、坐光寺地区に入り伊那南部広域農道とつながっている（県道15号線走破）。

県道15号線の終点の中央通り3・4丁目交差点から300m行って飯田駅に着いた。ここから「きんつば」の老舗を探して町中をうろうろしました。「きんつば」名前がうろ覚えになっていて、「大名きんつば」で調べて、ナビで行くと、今まで「きんつば」を買っていた店に着いてしまった。女房がなんとか調べてくれたのが「和泉庄和菓子店」だった。銀座1・2丁目交差点の角にある店のようだ、とにかく行って見る事にしました。

店前の石碑に老舗を示す「創業文政元年」が書いてありました。店に入ると、「きんつば」がありました。名前「名代大きんつば」でした。店の主人といろいろ話をしました。下の写真の右上は、刀のつばで「きんつば」の名前の由来となった。



ている、確かにここの「きんつば」の形は、そっくりな形であった。＜ここのきんつば、お盆のみ山形村アイシティーのつるやでも販売との事＞、伝統を守るのは、それなりの工夫があるようだ。こちらは車で早速味見、なかなかの味でした。帰りは飯田ICから、途中駒ヶ根ICで降り、ももを買い、小黒川スマートICで高速に乗り、実家経由で帰宅した。

した。店の前の石碑に老舗を示す「創業文政元年」が書いてありました。店に入ると、「きんつば」がありました。名前「名代大きんつば」でした。店の主人といろいろ話をしました。下の写真の右上は、刀のつばで「きんつば」の名前の由来となった。



《長野県山形村》(やまがたむら) 2024.7.9

下諏訪宿(本陣)と諏訪大社下社秋宮

澤田 繁 著

(長野県道 185 号走破)

2024.7.9 自宅(山形村)から塩尻市に、国道 20 号線で塩尻峠を越えて岡谷についた。岡谷 IC 付近から国道 20 号線はバイパスが出来ているが、行きはバイパスを通らず進みました。岡谷市長地から下諏訪町に入り、うなぎ林屋にと車を止めたのだが、休みでしたので、国道を外れ町内の道を、食べ物屋さんを探しながら走り、大社通りの交差点に出た。大社の方へちょっと行くと、中山道下諏訪宿高札跡があり、左に曲がり中山道の下諏訪宿を走る。国道に出たところが、中山道と甲州街道の境になるところで、甲州街道の方へ行くと、大社前にそば屋さんがあったので、そこに車を止めて昼食をとった。

昼食後、前の大社駐車場に移動し、大社にお参りし、下諏訪宿周辺を散策する事にしました。

中山道と甲州街道の境の近くに、今日の目的の「下諏訪宿本陣岩波家」を、大社から歩いて訪れました。本陣の門をくぐり、庭を通過した所に玄関があり、受



付をして上がりました。玄関に右写真の看板(関札)が置いてありました。各藩が2枚用意して来て、1枚は高札場に、1枚は本陣に掲げた物で、各藩によって大きさが違う。よく見ると右側に日付が書いてあり、説明によると、泊まり方を示す字が下にあるとのこと、連泊を示す「寓」・食事なしのとりを示す「宿」・食事つきのとりを示す「泊」等である。建物内を見ながら行くと、庭が見える部屋に来ました。この部屋で抹茶を出してくれました。大名になった気分庭を見ながら飲みました。旧来本陣岩波家の庭は、諏訪大社下社秋宮の境内を借景として、広大な庭園を持つことが知られていたが、現在は宅地化がすすみ、一部のみを見ることが出来るとある。

本陣を出て、中山道と甲州街道の境の場所に戻り、中山道を下り始めました。角にある、脇本陣の「桔梗屋」「まるや」の2軒は、現在温泉旅館として営業していた。中山道での温泉がある宿場は下諏訪宿だけのようで、門前町と合わせ(旅籠は45軒)、かなり賑わっていたとのこと。高札跡まで下る前に左にまがり、国道 142 号線を横断し「ニデックオルゴール記念館すわのね」に行った。大型オルゴールを聞ける事を期待していたので、15時から2階でガイドが説明してくれるとあったので、1階で展示を見ながら、いろいろ鳴ら



して時間調整をしました。2階に登り、ガイドさんの説明を聞きながら見学しました。シリンダーオルゴールが先に出て、円盤がその後であった。大型円盤のオルゴールの迫力を実感し、満足し、ついつい、孫にあげるオルゴールを買ってしまいました。

神社駐車場まで戻り、町内の道路を走り、県道 185 号線に出ました。右に行けば春宮大門の信号に、左に行けば下諏訪町役場に行く。この県道 185 号線は、春宮大門の信号から南下し、JR 中央本線の下をくぐり役場前の信号を通過し、下諏訪町総合運動場（昔テニス大会に何回か参加した）の横を通り、赤砂交差点まで

が県道 185 号線の支線？となる（2020.8.4 に走破）。この日は、春宮大門の信号を直進し諏訪大社下社春宮まで行き、左折し国道 20 号線のバイパスが延長される区間の南側を走り、バイパス完成区間を走り、岡谷インターから帰宅した。

2020.12.15 信大病院に寄り、松本市中山から東山麓線を通り、国道 20 号線で塩尻峠を越え岡谷市街地に着いた。ここから県道 185 号線（岡谷下諏訪線）の



始点を探す事にした。岡谷駅南口付近を回って、天竜 3 丁目の交差点を見つけた。ここが起点だったが、時がたち変化したようだ。中央本線を高架する丸山橋が出来たことによって、県道 16 号線が直進して天竜川を渡る道になった？（高架によって橋の南の交差点は立体交差になった？）。県道 185 号線と県道 16 号線をつなげるように、県道 185 号線は天竜 3 丁目から岡谷駅南口近辺を迂回して県道 16 号線の丸山橋南交差点まで順伸されたようだ。

天竜 3 丁目から東に県道 185 号線を走る。諏訪湖畔に出るまでは、両側人家で埋まっている道でした。岡谷市の天竜町・田中町・南宮を通り、岡谷市長地に入り商業施設や事業所が多くなって道も広がった。下諏訪町に入っても同様に商業施設や事業所が多いのが続く。赤砂の交差点を直進し、しばらく走り湖畔に出る。湖畔を 600m 走ると高浜交差点に、ここを直進していくと湖畔の道が諏訪市につづくが、左折してすぐ国道 20 号線と交わり県道 185 号線の終点となる（県道 185 号線走破）。この日はこの後、諏訪市・茅野市・辰野町・塩尻市を回り帰宅した。

歳時記ホームはこちら <http://www.go.tvn.ne.jp/~sawada/saijiki/saijikihome.htm>

《長野県山形村》(やまがたむら) 2024.7.16
信濃の国は10州に境連ぬる国にして(山梨県編)
(ハヶ岳スケッチライン走破)

澤田 繁 著

2024.7.16 埼玉県・富山県について3県目は、山梨県(甲州)の長野県側から行ける車道をまとめて見ました。

①【南アルプススーパー林道(長野県長谷～山梨県芦安)】第12集の「NO81」・「NO82」掲載の路線。マイカー規制が年間かかっている所以で自家用車では山梨県には行けない。国道152号線⇒南アルプススーパー林道(伊那市営林道南アルプス線⇐北沢峠⇒山梨県営南アルプス林道)⇒芦安⇒山梨県道20号線⇒山梨県道42号線⇒国道20号線。

②【国道20号線(日本橋～塩尻市)】日本橋から下諏訪町までは甲州街道、下諏訪町から塩尻市までは中山道に沿って出来た国道で、路線改修およびバイパスの建設がいまだに行われている。諏訪南インターから国道20号線に出て、標高900mくらいの谷間を東に進む、富士見駅近辺を過ぎ、下りはじめ、標高800m地点で釜無川沿いになる。釜無川沿いに下っていくと、^{つたき}葛木宿(長野県)があり、さらに進むと新国界橋で釜無川を渡り山梨県に入る。県境から3.5km程で^{きょうらいし}教来石宿跡(山梨県)を通過し、休憩場所、道の駅はくしゅう(標高600m)の近くに、台ヶ原宿(宿場の雰囲気が残っている)がある。国道20号は甲府までは釜無川沿いを進んでいる。

③【山梨県道・長野県道11号線(北杜富士見線)】第7集の「NO48」掲載の路線。国道20号線の^{新国界橋}手前300mにある、下葛木交差点(県道11号終点・標高720m)を左折して松木坂に入る。甲六川を渡ると山梨県となる県境(=甲六川)と並行して、ハヶ岳を登っていく、標高1200mまで一気に登り、後は山麓を走りながら1500mくらいまで登り、国道141号線に出る(県道11号始点)。



④【山梨県道・長野県道17号線(茅野北杜葦崎線)】第6集の「NO40」掲載の路線。国道152号線の山寺上交差点(茅野市)⇒原村⇒富士見町⇒甲六川(県境)⇒県道11号交点⇒北杜市⇒本町交差点(葦崎市)

⑤【中央自動車道(高井戸IC～小牧JCT)】諏訪南IC(長野県)からは、中央道最高標高点1015mを経て、甲六川(県境)を渡り、小淵沢IC(山梨県)に、後東京までつづく。

⑥【鉢巻道路/山梨県道・長野県道11号線支線(北杜富士見線)】第8集の

「NO51」の県道484号線が途中から鉢巻道路に、県道484号線と県道11号線の交点が県境50m手前となる。甲六川(県境)を渡り11号本線合流し鉢巻道路も終了となる。

⑦【国道 141 号線（葦崎市～上田市）】山梨県から佐久市（小諸市）に行く主要国道であり、小海線方面に行く時は、必ず利用する道である。須玉インター（標高約 500m）で降りすぐ国道 141 号線に入る。八ヶ岳を清里まで緩やかに登る道で「清里ライン」と呼ばれている。標高 860m 付近まで登ると右側下に「道の駅南きよさと」がある、数回寄って、休憩などにつかった所だ。さらに登ると「大門ダム」を回り込むように走り尾根（標高 1000m）に出る。清里駅近くを通過し、標高 1370m くらいまで登ると丘に登った感じで、野辺山高原を走る。県境は峠というより、**丘を登った所**と言った感じの所にあった。県境から野辺山駅方面に 500m 程の所に、鉄道最高地点（1375m）がある。

⑨【長野県道 106 号線・山梨県道 610 号（原浅尾葦崎線）】第 4 集の「NO22」掲載の路線。小海線信濃川上駅から県道 68 号線を三国峠方面に行くと、川上中学がある原地区に入る。県道 68 号と県道 106 号の交点の三差路が長野県道 106 号線の起点で県境の信州峠までは登り、県境で名前が山梨県道 610 号線に変わる。須玉町小尾地区を走り、みずがき湖で県道 23 号線と重複して明野町浅尾地区を走り、葦崎市駒井交差点で国道 141 号線と交わる。

⑧【八ヶ岳スケッチライン（野辺山駅～清里）】

2021.3.23 中部横断自動車道の八千穂高原インターで降りて、野辺山高原方面に向かう。国道 141 号線で佐久穂町から小海町を通過しの南牧村に入り、海の口駅（標高 940m）からは、高低差 300m を一気に上がる市場坂を登って野辺山高原に着いた。国道の西側の野菜畑や牧場のあるところを回って、国道 141 号線の野辺山交差点（スケッチライン起点）から野辺山駅に到着。ここから線路沿いを南下し踏切を渡り、天体望遠鏡の横を通り平沢峠に向かう。平沢峠駐車場（標高 1450m）で休憩した、八ヶ岳がどんと見える場所となっている。ここから標高差 300m 程を一気に下り、**大門川**を渡り山梨県に入る。県境から 600m程で国道 141 号線と合流した。山梨県側からは、国道 141 号線の清里の信号から約 600m 先きに案内があり、長野県南牧



村平沢⇒を右折すれば入ることが出来る道路です。この日は山梨県北杜市にある神代桜を見て帰宅した。

歳時記ホームはこちら <http://www.go.tvn.ne.jp/~sawada/saijiki/saijikihome.htm>

《長野県山形村》(やまがたむら) 2024.7.23

諏訪湖畔を走りました

澤田 繁 著

(長野県道 487 号走破)

2024.7.23 塩尻峠を越えて、岡谷市営岡谷球場の横を通り、本町交差点より県道 16 号線で天竜川まで行き、川の手前を左折し、釜口水門を見ながら岡谷市道岡谷 733 号線に入りました。岡谷から下諏訪までの湖畔沿いの道路は、通して走っていなかったなので、今日の最初の目的にしました。

入ってすぐ湖畔公園があり 1km 以上続いている。最初の 600m 程は、市道と湖畔までは 50m 程の距離があるが湖は良く見えた。岡谷南高校の横を通り、スポーツ施設(体育館・テニスコート・屋内水泳場)がある場所を通過し進むと、湖が見えない場所に入って、そこを抜けたところから下諏訪になった。下諏訪も湖畔に



は公園が複数あり、広い公園は赤砂崎公園で、一ツ浜公園・みずべ公園もあった。みずべ公園で休憩した。みずべ公園の横にハーモ美術館があり、久しぶりに美術館に行った。ハーモ美術館コレクション「スペインにフォーカス 20 世紀の巨匠たち」ピカソ・ミロ・ダリの展示だった。昼直後、湖畔の道路を進み諏訪市に入り、北澤美術館にも立ち寄った。エミール・ガレ没後 120 年記念「北澤美術館のガレ」の展示だった。隣に

<時のプロフィール・ダリ>



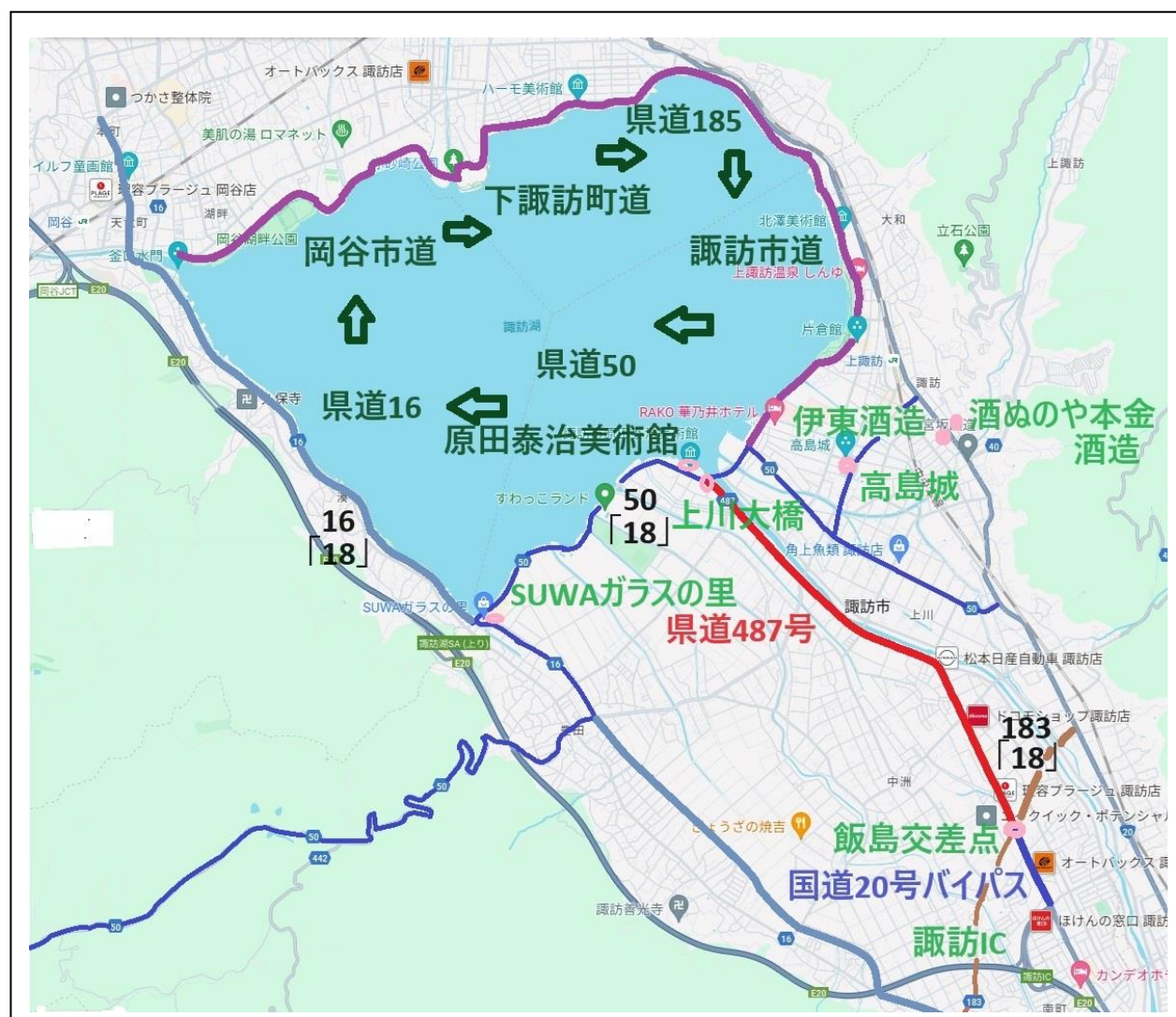
は、サンリツ服部美術館があり、前に訪れている。湖畔には、小学校のバス旅行で大きな風呂に入った記憶がある「片倉館」、やわらかい画風の「原田泰治美術館」。ガラスショップと美術館等がある「SUWAガラスの里」がある。一度も訪れた事がない「諏訪湖博物館・赤彦記念館」と「諏訪湖間欠センター」がある。残念な事に、間欠泉が止まってしまって見られなくなってしまった事です。

湖畔の道路は、諏訪市道から県道 50 号線になり、県道 50 号線が県道 16 号線と交わり、県道 16 号線が湖畔沿いに釜口水門までで一周する。

この日は、北澤美術館から国道 20 号線に出て、上諏訪駅前を通り酒蔵のある所まで移動した。「諏

訪五蔵」と呼ばれる場所が、国道 20 号線沿いに固まってあり、最初に「舞姫」→「麗人」があり、最後に「真澄」の宮坂醸造があり、そこに行こうと思ったが、引き返し「横笛」の伊東酒造と「^{ほんきん}本金」酒ぬのや本金酒造で生酒を買って、高島城の横を通り湖畔通りに戻りました。諏訪は、高島藩の城下町であるとともに甲州街道の上諏訪宿があった所になる。昔の街並みの状態は、よくわからない所が多い。2021.7.13 甲州街道を下諏訪の終点から、宮坂醸造の前まで車で走ってみた。下諏訪からは山沿いの道（斜面）になっており、上諏訪駅手前から平地になって宮坂醸造まで進んだ、結構狭い道が残っていた。

<ひとよ茸ランプ・ガレ>



湖畔沿い道路を少し南下したら県道 50 号線と交わり湖畔道路は、県道 50 号線になった。上川大橋を渡った所が県道 487 号線（諏訪湖四賀線）の起点となり、上川沿いに諏訪インターを目指す。諏訪インターの一つ前の信号である飯島交差点が県道 487 号線の終点となる（県道 487 号線走破）。飯島交差点から国道 20 号線のバイパスを通り、諏訪インターで高速に乗り帰宅した。

《長野県山形村》(やまがたむら) 2024.7.30

茶臼山高原(愛知県)を県道46号線から一周

澤田 繁 著

(長野県道46号走破)(茶臼山高原道路走破)

2024.7.30 自宅を11時頃出発したが雨が降り出した。塩尻北インターから高速に乗り南に進む、高速に乗っている間は、雨は降ったりやんだり、時にはやや激しく降った。飯田山本インターで高速を降り国道153号線を阿智村⇒平谷村⇒根羽村北部と通り、根羽村役場付近に着いた。雨は高速を降りた時から、ふられていなかったが曇りの天気はつづいた。

根羽村中心地から西には国道153号線・南には愛知県道/長野県道10号線・東には県道46号線が走る場所になっている。2020.10.6に愛知県から県道10号線を走破したあと県道46号線を売木村まで走った道を再度走り茶臼山に向かいました。売木峠手前に根羽村村道があり、県境に向かっている。村道に入り、根羽村にある自然に関する施設を横に登って行くと、やや広い駐車場に着き車を止めた。南アルプス・中央アルプスが見える場所のようだが、天気は回復せず赤石岳周辺が見えたくらいだった。山をみている間に、女房が「矢作川源流」を歩いて行って探してきたので、カメラを持って二人で「水浴びに」行きました。源流を見るには、かなり歩くのが普通と思っていたので、少し歩いた(100m)だけで源流にたどり着けて興奮しまし



た。

駐車場からは、茶臼山を北から西にぐるりと回り、県境を越えていろいろな施設がある場所に着いた。「オールシーズン楽しめる・茶臼山高原」とあり、とりあえずレストラン・売店が

ある駐車場まで移動した。リフトに乗って「萩太郎展望台」まで行く事にしました。山の頂上に近づくと、リフトの下に花が植えてあり、乗りながら楽しめました。案内によれば丘一面に「芝桜」が咲く季節もあるようだ。展望台につき南を眺めたが、山並みが幾重にも海(見えなかった)に向かって波打っている感じが見る事が出来た。リフトを下って行くと、カートやボートが見えた。(写真右はペアリフトから茶臼山を映す)



時間がきつかったが、「茶臼山高原道路（愛知県道 507 号線）」を往復する事にしました。この道路有料道路だったのが、2008 年（平成 20 年）4 月に無料開放された道路で、愛知県道路公社が管理をしている。案内にはく天竜三河国定公園内の茶臼山を起点に、奥三河の山並みを左右に望みながら、折元インターを経て終点の設楽町西納庫インターで国道 257 号線に通ずる・・・>実際に走ってみたが、木も大きくなり生い茂っていて、なかなか景色が見えない道路でした。面ノ木 IC から西納庫 IC までは、カーブが多く高低差もある道路でした。終点西納庫インター横にある「道の駅アグリステーションなぐら」で休憩して、名倉産のトマトジュースを飲んで、4 時過ぎに道の駅を出て、茶臼山に戻りました。



茶臼山高原道路から愛知県道 506 号線を少し走り、売木村への案内が出た所を左折し、村道に入った高原の道を県境まで進み、長野県売木村に入った。県境に＜南信州うるぎむら・いらっしやいまし・月の家圓鏡の・ふるさと売木村です＞の看板があった。緩やかな下りの道を走り、売木峠で県道 46 号線に戻りました。売木村交差点までは、高低差 350m の下りの道を走り、この日は、国道 418 号線から国道 151 号線に出て、天竜峡インターから高速に乗り、7 時過ぎに自宅に着いた。

2021. 11. 16 県道 46 号線が 1 年前には工事中で通行止め（売木村から阿南町の間）だった区間を走った。千代インターから下條村で国道 151 号線に出て南下し、阿南町西條の南下にある和知野川を渡る手前の三差路（県道 46 号線終点）を右折しダム横を通り、売木川に沿って登っていく道でした。根羽村から売木村までの道は、センターラインのある 2 車線の道だったが、阿南町から売木村までの道は、80%以上が溪谷をぬう道で狭い道だった。売木村の中心に近づくくと耕作地があり集落もあるようになってきた。少し走ると、見覚えがある所に来た、この辺までは、通行止めを知らずに来た所だ。これで県道 46 号線を走破した事になった。この日は、「道の駅南信州うるぎ」で休憩し愛知県道・長野県道 74 号線を走りに行きました。

<http://www.go.tvn.ne.jp/~sawada/saijiki/saijikihome.htm> 歳時記ホームはこちら

《長野県山形村》(やまがたむら) 2024.7.30

信濃の国は10州に境連ぬる国にして(愛知県編)

澤田 繁 著

(愛知県道・長野県道 74 号県内走破)(愛知県道・岐阜県道・長野県道 101 号走破)

2021.11.16 三遠南信自動車道の千代インターで降りて、泰阜村から下條村に出て国道 151 号線を北上し、阿南町の県道 46 号から売木村に、「道の駅南信州うるぎ」で休憩し、県道 447 号(第 3 集「N017」)を使い県境に近い旧国道 151 号線まで足を運んだ。ここが県道 74 号線(阿南東栄線)の起点となったようだ。旧国道 151 線から新国道 151 号線を「新野峠」に向かい途中から左折し、単独の県道 74 号線になる。左折し 100m 程行くと、愛知県・豊根村の看板の下に到達した(県道 74 号線長野県内走破)。

道は広くはないが、すれ違いが出来る。県境からは山道で下っていく、川に沿っているが山腹を走る。川が見えてきた所に集落があり、500m 程で再び山道に入った。これを繰り返しながら南下していく。下りがきつくなって下に町が見えた。下ったところが豊根村の中心地であった。愛知県道 428 号線と県道 74 号線は重複しており、西方向に進む。1.2km 程で県道 74 号は分かれて南に進み、東栄町本郷交差点で国道 151 号線と交



わり終点となるが、次回以降に走る事にして、この日は、428 号線を西に進んだ、国道 151 号線をまたぎ、設楽町津具（旧津具村）に入った。津具からは県道 80 号線を走り、豊田市稲武町（旧稲武町）に入り、県道 80 号線は国道 257 号線と交わり、「道の駅どんぐりの里いなぶ」で休憩し、国道 257 号線⇒国道 153 号線⇒飯田山本インターで高速に乗り帰宅した。

- ① 【愛知県道・静岡県道・長野県道 1 号線（飯田^{とみやま}富山佐久間線）】第 4 集の「NO25」に掲載。天竜川に沿った県道。長野県と愛知県の**県境の尾根が、天竜川**まで突き出ている所が、県道 1 号線が長野県から愛知県に移る境である。飯田市下久堅から泰阜村・阿南町・天龍村⇒（愛知県）⇒豊根村⇒佐久間ダム真中⇒（静岡県）⇒静岡県浜松市佐久間町浦川まで。
- ② 【愛知県道・長野県道 74 号線（阿南東栄線）】第 1 3 集の「NO90」に掲載。阿南町新野地区の**新野峠から東に 600m の尾根**が県境。阿南町飯野（長野県）⇒高根村（愛知県）⇒東栄町
- ③ 【国道 151 号線（飯田市～豊橋市）】飯田駅近くが起点で、天竜峡に向かう。県道 1 号線は川沿いを走るが、国道 151 号線は山間を走る路線。橋とトンネルで改良が行われ徐々に走りやすくなってきている。三遠南信自動車道が少し出来てからは、天竜峡インターまで行き、そこから国道 151 号線に入る事が多くなった。天竜峡を過ぎると下條村に入り、良く「道の駅信濃路下條」で休憩する。阿南町に入り、「道の駅信州新野千石平」を過ぎ、県境の新野峠を目指す。**県境の尾根にある新野峠**からは愛知県となる。愛知県側の豊根村・東栄町の国道は、カーブも多く緩やかな下りが続く、結構同じ景色が続く路線であった。ようやく三遠南信自動車道のインターである東栄インターに着いた。喜んで乗ってしまいましたが、佐久間ダム方面に行ってしまう、引き返すはめになったインターである。令和 7 年度には、このインターで乗れば、東名自動車道まで行ける事となりそうで楽しみです。

【塩の道・南塩】国道 153 号線の終点**塩尻**の地名は、塩の道の終点を現わしている。太平洋から来る塩を**南塩**と呼び、主要の道は、遠州（静岡県）から秋葉街道（国道 152 号線）を通るのと三河からの 2 本が知られている。

県道 10 号線につながる塩の道は、豊橋市の吉田宿に集められた塩を舟で豊川を登り、**新城宿**まで行き、**新城宿**からは陸路となる。もう一つは、国道 153 号線（三州街道）につながる道で、塩の産地



である吉良（吉良饗庭塩の里・吉良家墓とともに訪れた所）・一色・大浜からは、舟で矢作川と巴川を使い足助宿まで行き、**足助宿（足助塩）**からは陸路（三州街道）となる。

- ④ 【愛知県道・長野県道 10 号線（設楽根羽線）】第 7 集の「NO43」に掲載。新東名高速道路の新城インターから国道 257 号線を北上、設楽町田口（**田口宿**）を通り、設楽町小松の三差路で県道 10 号線に入る。境川の川沿いを登り、降りた所がちっと開けた平地にある上津具宿。**上津具宿から根羽宿**までは、山道の峠を越える。県境は、「道の駅つぐ高原グリーンパーク」の先 200m の**県境の尾根の低い所**にある。
- ⑤ 【国道 153 号線（塩尻市～名古屋市東区）】国道 153 号線は、「道の駅どんぐりの里いなぶ」から名古屋方面には走った事がない。機会あれば足助宿に行ってみたくと思っています。塩の道は、**足助宿**から**明川宿**を通り、**武節宿**（どんぐりの里いなぶ）に至る。武節宿の武節は、1940 年（昭和 15 年）に武節村と稲橋村が合併し「稲武町」になる以前の村の名称でもある。長野県境に近い稲橋村は明治 22 年に稲橋・

中当・野入・夏焼・大野瀬・押山村が統合された村で現在でも地域が残っている。どんぐりの里（標高約 500m）出て、夏焼町に入り、標高 700m まで登り野入町に入り、野入川に沿って下り、大野瀬町に入り野入川に沿って更に下り矢作川との合流点（標高 500m）につく、ここから矢作川に沿って登って行き根羽村（根羽宿）に到着する。途中県境は標高 550m くらいの**矢作川横（県境の尾根の谷間）の谷間**。

- ⑥ 【愛知県道・岐阜県道・長野県道 101 号線（月瀬上矢作）】2022.5.31 県道 101 号線を走るために、中央道で飯田山本インターまで行き、国道 153 号線に出て、阿智村・平谷村・根羽村を走り、県境 2km 手前の月瀬三差路（月瀬の大杉公園から 200m・標高 570m）を右折すると県道 101 号線に入る。浅い谷間の道を 2.5km 程行くと標高 720m 地点の県境につく（**丘に登った所が県境**）・標高 720m 前後をキープしていると大野瀬（豊田市）の一つの集落があった。集落を過ぎると登りになり、大桑峠（標高 760m 程）からは岐阜県となる。この県道、愛知県内は 2.5km 程しかない。大桑峠からは下りの道で、少し降りると川沿いの道になる。この川が上村川と合流した所に中越橋（標高 480m）があり、上村川右岸に国道 418 号（第 3 集の「NO17」掲載）が、左岸に県道 101 号が走っている。川沿いには、耕作地・人家があり、人家は右岸の方が多かった。新弁天橋を渡り国道 257 号線と交わった（県道 101 号線終点・県道 101 号線走破）。^{かみやばぎちよう}上矢作町は、昭和 31 年に上村と下原田村が合併して出来た町、平成 16 年に恵那市・岩村町・山岡町・明智町・串原村・上矢作町が合併して新たな恵那市になる。この日は、県道 101 号との交点の国道 257 号線を 1.5km 程南下し、市道を明智町方面に行き、「大正村」のすぐ北に出た。大正村は前にぐるっと回ったので、今回は素通りし更に南下しました。愛知県道・岐阜県道 11 号線（豊田明智線）で猿投げグリーンロードまで行き、枝下インターから八草インターまでグリーンロードに乗って、**八草インターで降りて瀬戸にい**き「瀬戸物」を買って帰りました。県道 11 号線は、始点の明智町から浅谷町までは、明智川の川沿いの道、浅谷町で、明智川が矢作川と合流してからは矢作川沿いに、枝下インターを過ぎ県道 11 号の終点の豊田市平戸橋町までのずっと川沿いの路線であった。

- ⑦⑧ 【根羽村村道～愛知県道 507 号（茶臼山高原道路）・豊根村村道～売木村村道】第 1 3 集の「N089」に掲載。根羽村から県道 46 号線を走り、売木峠手前から根羽村村道に入り、茶臼山山麓を一周して売木峠に至る。県境は二か所あり、根羽村⇒豊根村と豊根村⇒売木村でいずれも**山麓（丘）**だった。

【付録】ジブリパークは八草インターで降りるとすぐそこ

2024.7.6 娘にジブリパークに連れってもらいました。私が助手席で、女房と孫が後部座席で往復しました。中央道から**土岐 JCT**から東海環状自動車道に入り、**豊田方面**で間違いなし。せと赤津 IC の次の**豊田藤岡 IC** で一旦降りる（猿投グリーンロードには直接入れない）。案内（名古屋方面入口・猿投グリーンロード・猿投東 IC⇒猿投東 IC・名古屋方面・(13)⇒有料道路・猿投グリーンロード・名古屋 瀬戸・入口 200m⇒猿投グリーンロード・猿投東 IC・名古屋方面・→）に従って進む。猿投ロードの下に右折レーンがあり、そこを右折し猿投ロードに入る。八草東 IC 手前に料金所があり、そこを過ぎても直進する。鉄道が真上に来たらそこから約 1km 程先の側道（二つ目の側道・愛地球博記念公園への矢印有）に入る。側道に入り、信号の先に駅があり、その先に駐車場へのレーンがある（側道に入り 600m 程で駐車場入口があった）。＜駐車場からは公園内という事で入場ゲートなどはない、テーマパークに入る時にチケットが必要となった・ねこバスに乗って、もののけの里に・魔女の谷で昼食後ハウルの城を外から見て・私と女房は大休憩・最後にジブリ大倉庫で写真を撮りまくり駐車場に＞帰り道を同じにするには、**八草 IC**に戻らなくてはなりませんが、駐車場を出て名古屋方面（こっちしかいけない）に 800m 程行くと瀬戸・豊田方面への矢印の案内があり、左の側道に入り、交差点に到達する。この交差点を右折し、すぐ右折レーンに入る。これで信号を待てば U ターン出来そうです。私たちはそのまま瀬戸まで行き、せと赤津 IC から帰宅した。



《長野県山形村》(やまがたむら) 2024.8.5

実延長 7m の上田停車場線(県道 162 号線)

澤田 繁 著

(長野県道 161 号走破)(長野県道 162 号走破)(長野県道 336 号走破)(長野県道 337 号走破)

2022. 2. 1 三才山トンネル・平井寺トンネルを通り、上田赤坂交差点から県道 77 号線に入り、上田駅に行きました。ここに実延長が日本一短い(?) 県道があると聞いてきました。県道 162 号線(上田停車場線) 実延長が 7m で、幅員のほうが実延長の 2 倍ほどある道路とされるが、その外見は、市道扱いの上田駅前ロータリーと県道 77 号線に挟まれた横断歩道部分しかないのが実態である。一説には、かつては上田駅前まで続く県道であったが、2002



年(平成 15 年)に駅前ロータリー線が市道として整備されたことによって県道の延長が削られ、現在の長さになったと言われる。終点は、中央1丁目の交差点で国道 141 号と交わり県道 77 号線との重複区間を含め総延長は 126. 4m である。



この日は、国道 141 号線で大屋駅まで行き、県道 176 号線(下原大屋停車場線)で関越自動車道のローマン橋を見て、国道 144 号線を通り、国道 18 号線に出て、西上田駅に到着した。国道 18 号線の上塩尻と下塩尻の境付近にある、現時点で信号がない交差点の山根三差路から西上田駅までの県道 161 号線(西上田停車場線)を走った事になる。総延長は 122m の県道である。

18 号線を長野方面に向かい戸倉駅に到着した。戸倉駅は、戸倉上山田温泉への玄関口の駅である。戸倉駅から戸倉駅入口交差点までの区間が県道 336 号線(戸倉停車場線)で総延長は 160m になる。



更に 18 号線を北に向かい屋代駅に到着。県道 337 号線(屋代停車場線)は杭瀬下交差点までの区間になり、屋代駅前交差点から杭瀬下交差点までは、県道 392 号線との重複区間である。国道 403 号線を姨捨駅方面に行き姨捨スマートインターから